

ななお商工会議所 だより

12 No. 636
2023

<https://nanao-cci.or.jp>

[mail:office@nanao-cci.or.jp](mailto:office@nanao-cci.or.jp)



七尾商工会議所

検索



七尾商工会議所

検索



表紙写真：令和5年度永年勤続優良従業員表彰式

C
O
N
T
E
N
T
S

P2 令和5年度永年勤続優良従業員表彰式開催/
七尾市との意見交換会

P3 令和5年度永年勤続優良従業員表彰式 受賞者一覧

P4 「七尾創業アカデミー」第7講/
「七尾創業アカデミー」第8講/
賃上げサポートセミナー

P5 鯖江バーチャルモール/セミナーのご案内

P6 景況・業況動向調査結果報告

P7 ピックアップ対談「互礼会でつながろう！」

P8 女性会だより

P8 青年部だより/奥能登国際芸術祭鑑賞バスツアー

P10 インボイス&電子帳簿保存の周知と広報へ/
石川県青色申告会連合会女性部研修会

P11 新規会員募集中/会議所だより広告を載せてみませんか?/
年末年始休館のご案内/令和5年度会費納入のお礼/年賀状廃止のお知らせ

P12 トレンド通信/行事カレンダー



役員・議員20年表彰 濱田健司氏



謝辞を述べる(株)地域みらい 辻野裕之氏

令和5年度永年勤続優良従業員表彰式開催

優良従業員132名を表彰 ～長年の貢献たたえる～

11月27日(月)、当所にて永年勤続優良従業員表彰式を開催し、27事業所、132名の表彰を行いました。

同表彰は、会員企業・団体に業績向上に貢献した従業員の労に報いるとともに、一層の士気向上と組織活性化を図る目的で行われています。

式では、杉野会頭が、長年にわたる真摯な努力、また、社業発展への大いなる貢献に敬意を表し「エネルギー・資源価格の高騰への対応や少子高齢化、人手不足など地域を取り巻く課題は多く、課題解決に向けスピード感を持って対応していくことが必要である。従来に増して会員事業所の皆様に寄り添った支援を通じて、個々の事業者の経営力を底上げし、収益改善と所得拡大を進めてまいります」と式辞を述べました。

議員20年表彰として、濱田健司氏に日本商工会議

所会頭感謝状の表彰状と記念品が授与されました。

引き続き、永年勤続優良従業員の表彰式が行われ、30年以上、25年以上、20年以上、15年以上の受賞者132名に賞状と記念品が授与されました。

馳石川県知事(代理:成瀬英之商工労働部次長)、茶谷義隆七尾市長(代理:松崎健産業部長)、西田昭二衆議院議員(代理:奥村淳秘書)、近藤和也衆議院議員、和田内幸三石川県議会議員、清水真一路石川県議会議員から祝辞を頂いた後、受賞者を代表して辻野裕之さん(株式会社地域みらい)が「今後もより一層の責任感と専念をもって、組織の発展に貢献していきます」と謝辞を述べ、式典を締めくくりました。

受賞された方の一覧は右記のとおりです。



七尾市との意見交換会



11月6日(月)、七尾商工会議所と七尾市の意見交換会は能登食祭市場のパーラーおおしきで開かれました。当所からは杉野哲也会頭他8人が、七尾市からは茶谷義隆市長他5人が参加し、七尾の発展に向け忌憚なく意見を交わしました。

会では七尾の強みである観光産業が主に語られました。自動運転技術の活用による観光アクセス向上や新

商品の開発、伝統的食文化の掘り起こしなど、双方から様々な提案がなされました。七尾のお土産、特産品については「選ばれにくい」との声も上がりました。「七尾ならではの魅力的商品の開発のため、各産業や団体が連携し、知恵を絞る必要があると結論付けられました。またそのためにも、地域の商工業者を束ねる当所の主体性が重要になると、会議所の果たすべき役割について言及される場面もありました。

杉野会頭は深刻化する労働力不足にも触れられ、「繁忙期などに合わせ、人材が異業種間で共有できるような仕組みがあれば」と、未来を見据えた制度改革の必要性を説きました。その他、地域通貨を絡めた賃上げ策、外国人労働者、企業誘致など様々なテーマで議論されました。

令和5年度永年勤続優良従業員表彰式 受賞者一覧

日本商工会議所会頭感謝状伝達

表彰規則第2条2項
(役員・議員20年表彰)
濱田 健司(議員)

表彰規則第3条
(職員表彰30年表彰)
宮田 良一郎
近松 千恵子

永年勤続優良従業員表彰 30年以上表彰者(24名)

株式会社佐々波鮎網
辻 和子

株式会社地域みらい
辻野 裕之

株式会社赤岬商会
池尾 孝治

株式会社スギヨ
長坂 朋良 岡野 達也
山下 真二 田中 豊志
浜田 裕嗣 森野 勝
安井 博志

石川ドック株式会社
狩山 諭志 岡崎 登世吉
坂本 紀彦

のと共栄信用金庫
岡田 隆 小山 満仁
青木 勝 高田 亀次郎

カワラ金属株式会社
岡野 勤

谷建設株式会社
白池 誠

石川交通株式会社 七尾営業所
金谷 健二

株式会社徳政組
地海 敏克

七尾海陸運送株式会社
裕 孝一郎 坂口 真由美

有限会社 竹一
角間 健治

永年勤続優良従業員表彰 25年以上表彰者(31名)

株式会社佐々波鮎網
西海 満 田中 正敏

株式会社加賀屋
中村 義応 神谷 保子

株式会社加賀屋(虹と海)
香村 奈都子

丸一運輸株式会社
今井 敏信

株式会社スギヨ
川上 和孝 新江 隆生
氣戸 直仁 山形 香
吉本 卓也 松江 尚志
山下 保治 神前 学
白尾 陽子 宮本 祥宏
村中 健介 小林 謙二
先川 尚宏 瀧本 治恵
堅田 真吾 中西 俊敦

株式会社環境日本海サービス公社
福島 克公 松江 勇幹雄

和田内潜建株式会社
高橋 春美

共和鉄工株式会社
山本 康夫

カワラ金属株式会社
関 信子

谷建設株式会社
稲葉 雄次 山口 武志

七尾海陸運送株式会社
松本 照夫

株式会社山田屋
山原 宏一

永年勤続優良従業員表彰 20年以上表彰者(41名)

有限会社七尾自動車教習所
平野 公威

株式会社丸一観光
東度 美保子 田中 裕章

丸一タクシー株式会社
蔵谷 陽子

丸一運輸株式会社
藤田 強 又谷 治樹

株式会社スギヨ
毛利 光夫 宮本 一樹

笠谷 慎太郎 谷 謙一
大道 哲平 仲光 慶

芋坪 晃 原 健
宮下 裕二 滝本 理恵

足立 尚子 石掛 真由美
鵜家 世紀 塚林 幹生

株式会社環境日本海サービス公社
入山 隆

のと共栄信用金庫
開化 信幸 舘 一成

坂山 博信 亀井 邦治
道田 彩子 永源 千尋

高柳 義明 松本 明子

富澤 勝美 高平 千春
今井 和美 酒井 伸子

新村 直子
谷建設株式会社

木山 進也
石川交通株式会社 七尾営業所

西田 政志 仲島 実
巻建設株式会社

西村 俊也
株式会社エフラボ

前田 敏慎 赤倉 愛
太陽警備保障株式会社

川口 竹弘

永年勤続優良従業員表彰 15年以上表彰者(36名)

有限会社七尾自動車教習所
橋本 康直

株式会社丸一観光
森 達之

株式会社赤岬商会
平野 誠

丸一運輸株式会社
渡邊 定義 吉野 美子

地本 一夫 谷口 和久
古澤 日出海

株式会社スギヨ
北川 裕人 森野 麻美

倉持 聡美 阿部 正弘
渋江 藍 丹羽 裕香

野口 陽平 麻生 茜
吉田 順紀 奥村 久美

北 幹子 横山 旭
株式会社環境日本海サービス公社

中川 清美
和田内潜建株式会社

松江 重好 尾崎 一啓
中矢 勝彦

エフピーージャパン株式会社
澤田 晶好

株式会社香島津
吉田 悟史

巻建設株式会社
吉田 哲夫 橋尾 孝史

株式会社エフラボ
前田 幸美 山田 勇三

伊東 康孝 山田 俊江
出水 洋平

株式会社山田屋
杉谷 雅仁 谷内 敏和

安井 美恵子

N-As(エヌアス) 通信

ななお経営支援センター(N-As)
ななお創業応援カルテット
石川県よろず支援拠点能登サテライト

七尾(N)の明日(As)の経営/経営のなやみ、なんでも、お手伝い

七尾創業アカデミー第7講を開催



久田 高志 氏



10月31日(火)、七尾創業アカデミーの第7講が開催されました。この日も引き続き、経営をテーマに久田高志氏による講義が行われました。講義のタイトルは「創業アイデアの具体化してみる!②相談と創業計画作り」でした。久田氏は、これまでの学びから得た会計、情報、営業、労務などの全体的な知識を振り返り、それを踏まえた上で経営全般にわたる基礎知識に焦点を当て、外部環境と内部環境の捉え方

について集中的に講義していただきました。

講義の後半ではワークショップ形式が採用され、各受講生が自身の創業計画において引っかかっているポイントについて、カルテットメンバーに個別に相談できる時間が設けられました。これにより、受講生たちは積極的に相談し合ったり、各グループで協議を行ったりすることで、創業計画の進捗に対する理解を深めました。

七尾創業アカデミー第8講を開催

11月7日(火)、七尾創業アカデミー最終回となる第8講が開催されました。最終回ではこれまでに学んだ知識をもとに各受講生が作成した創業計画を発表する場として、4名の勇気ある受講生が挑戦しました。彼らは初めての経験にも関わらず、堂々とした姿勢で10~15分間のプレゼンテーションを行い、ななお創業応援カルテットのメンバーからの質疑応答や講評に対して的確に回答しました。

今期は、約20名の方々が無事に卒業しました。ななお創業応援カルテットでは引き続き、卒業生たちの個別支援を行っていく予定です。卒業生たちが創業に向けてステップを踏み出す際に必要なサポートを提供し、地域の起業家たちが成功に向けて一歩ずつ前進できるよう支えていきます。



登壇し発表する西村 剛志 氏

賃上げサポートセミナー



11月22日(水)、七尾商工会議所・ななお経営支援センターは、フクツル社会福祉・社会保険労務士事務所の福井秀和先生を講師に迎え、「賃上げサポートセミナー」を

開催しました。セミナーでは、メリットとデメリットを挙げながら賃上げの効果と必要性を詳細に説明されました。

その後、中小企業・小規模事業者向けに助成金の活用方法について紹介が行われました。業種や企業規模によって異なる助成金の活用方法について、受講者が関連するものや活用可能なものに焦点を当て、具体的に説明が行われました。

さらに、11月2日に内閣府から閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」についても言及がありました。特に、中小企業の賃上げ環境設備の支援が焦点となり、その内容についても説明されました。

バーチャルモールでお買い物

「バーチャルモール」
はこちら



12月1日(金)、鯖江商工会議所が主催するMADE FROM 2024「バーチャルモール」が開幕しました。バーチャルモールは最新のテクノロジーを導入したオンライン商業空間のことで、3D化した店舗や工場を「散策」するインナービューなどが体験できます。買い手にモノづくりのリアルを伝え、付加価値のある購買体験を提供します。



高澤ろうそく店のインナービュー

昨年に引き続き2回目の実施となったバーチャルモール。今回から当所が初参加し、高澤商店、アマイケ、丸越工業、大根音松商店が出展しています。

アマイケと丸越工業は、普段立ち入ることのできない工場の内部を見ることができます。アマイケでは世界最軽量の極薄生地「天女の羽衣」の製造工程の一部を見学できます。丸越工業では、れんがの製造工程のみならず、珪藻土で作られたピザ窯「Dogama」の紹介動画も視聴できます。

高澤商店は一本杉町の「高澤ろうそく店」の和ろうそくを紹介しています。インナービューでは伝統的な木造建築に並ぶとどりの和ろうそくの情緒が楽しめます。

大根音松商店は石崎町香島の店舗「なまこや」と併設の飲食店「海ごちそう」のほか、石崎工場を覗くことができます。3カ所を巡ることによって、七尾名産のナマコについて親しみ深くなることでしょう。

セミナーのご案内 (受講無料)

| セミナー名・日時 | 講師 | 申込方法 (QR) |
|--|---|---|
| ものづくり補助金セミナー 日時 2023年 12月18日(日) 14:00~15:30 場所 七尾商工会議所 3F 301会議室 (七尾市三島町70-1) 定員 5名限定 (先着順とさせていただきます。) |  (公財) 石川県産業創出支援機構 石川県よろず支援拠点コーディネーター 中小企業診断士 講師 中嶋 克也 氏 |  |
| 政府支援策の活用と価格転嫁 15のテクニックで利益確保 日時 2023年 12月21日(水) 15:00~17:00 場所 七尾商工会議所 (七尾市三島町 70-1) 定員 20名限定 (先着順とさせていただきます。) |  株式会社経営科学研究所 代表取締役 中小企業診断士 講師 初鹿野 浩明 氏 |  |
| 初心者のためのスマホで写真の 撮り方セミナー 日時 2023年 12月26日(火) 14:00~15:30 場所 七尾商工会議所 3F 301 会議室 (七尾市三島町 70-1) 定員 5名限定 (先着順とさせていただきます。) |  (公財) 石川県産業創出支援機構 石川県よろず支援拠点コーディネーター 講師 守部 和孝 氏 |  |
| 電子帳簿保存法の実務対応と インボイス制度のおさらい ~スキャナ保存・ 電子取引の要件が緩和~ 日時 2024年 1月17日(水) 13:30~15:30 場所 七尾商工会議所 (七尾市三島町70-1) 定員 20名限定 (先着順とさせていただきます。) |  河合中小企業診断士・ 社会保険労務士事務所 代表 講師 河合 正尚 氏 |  |

「一日公庫」(個別金融相談会) & 「事業承継マッチング支援相談会」のご案内

日 時 令和6年 1月23日(火) 10:00~16:00

会 場 七尾商工会議所 2階 研修室

※入口にて、手指のアルコール消毒をお願い致します。

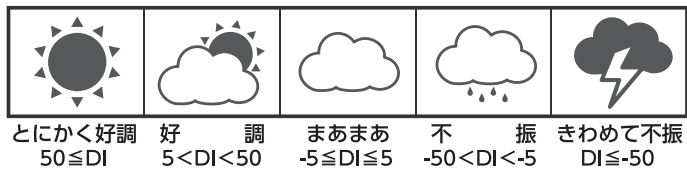


七尾商工会議所 (公財) ななお経営支援センター
 〒926-8642 七尾市三島町70番地の1
 TEL 0767-54-8888 / FAX 0767-54-8811

相談・
参加費
無料

七尾商工会議所「景況・業況動向調査結果報告」 (令和5年7～9月)

当所では、管内の景気動向を把握するため、役員・議員・評議員・会員の皆様にアンケート調査を実施しました。令和5年7月～9月（第2四半期）の調査結果は以下の通りです。



DIディフュージョン・インデックスとは『増加・上昇・好転』の割合(%)から『減少・低下・悪化』の割合(%)を差し引いた指数です。

| DI | 景況感 | 売上高 | 売上単価 | 仕入原価 | 資金繰り | 採算性 |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|
| 全産業 (今期) | 26.2 | 28.6 | 61.9 | ▲70.7 | 38.1 | 22.6 |
| (来期 見込み) | 28.6 | 35.7 | 50.0 | ▲35.4 | 34.5 | 17.9 |
| 製造業 (今期) | 25.0 | 28.6 | 42.9 | ▲67.9 | 39.3 | 14.3 |
| (来期 見込み) | 7.7 | 15.4 | 38.5 | ▲26.9 | 15.4 | ▲7.7 |
| 建設業 (今期) | ▲50.0 | ▲8.3 | 66.7 | ▲100 | 0.0 | ▲16.7 |
| (来期 見込み) | 7.1 | 7.1 | 64.3 | ▲100 | 64.3 | 0.0 |
| 小売業 (今期) | 16.7 | 16.7 | 100 | ▲100 | 66.7 | 16.7 |
| (来期 見込み) | 16.7 | 83.3 | 83.3 | ▲50.0 | 66.7 | 16.7 |
| 卸売業 (今期) | 57.1 | 21.4 | 85.7 | ▲78.6 | 35.7 | 42.9 |
| (来期 見込み) | 57.1 | 50.0 | 50.0 | ▲7.1 | 28.6 | 78.6 |
| サービス業 (今期) | 50.0 | 54.2 | 58.3 | ▲45.5 | 50.0 | 41.7 |
| (来期 見込み) | 50.0 | 54.2 | 45.8 | ▲18.2 | 33.3 | 20.8 |

新型コロナウイルス「5類移行」での人流変化で、全産業トータルで、景況感が上昇、一方で、建設業全体は原材料・原油価格の高騰が響く～全体の景況感について～

全産業としてのトータルは、上昇しているが、業種別では、建設業のみが、景況感を表すDI値がマイナス50と低くなっています。仕入原価の高騰は、全産業を通して、マイナスであるが、今回の調査では、建設業が100%悪化と回答していることから、深刻な状況がうかがえます。卸売業、サービス業は、ともにDIが50を超え、好転がうかがえます。5月の新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行した要因の一つに考えられます。

自由記述には「コロナ感染に対する市場経済の回復が見られるもののエネルギー等の価格高騰により景気上昇の高止まり感がある」や「物価、人件費等の上昇分を売上でカバーしきれない。」などがあり、ここでも、物価上昇が響いています。

直面している経営上の問題点について

「仕入単価の上昇」が25%、「経費の増加」が24%を占めました。依然として、「従業員の確保」として、24%となっています。原材料高騰等に伴いコストが増加しているかとの問いには、95%が増加していると回答しています。コスト増加分を販売価格に転嫁できているかとの問いでは、77%がコスト増加分を販売価格に転嫁したと回答。一方で、14%は転嫁できていないと回答しています。

そのほかに、コロナ特別融資の返済開始などの懸念や、仕事減少による従業員余剰が問題になっている声もありました。

▶当所では、価格転嫁についてのセミナーを12月21日(木)に「価格転嫁15のテクニックで利益確保」を開催致します。詳しくは、「5ページ」にてご確認ください。

インボイス制度による影響

インボイス制度による影響では、「インボイス発行業務に不安がある」と回答が23%占めました。経理処理の煩雑化による間接業務の増加や制度の理解度が不安につながっていると推測されます。自由回答では、「免税業者が多く、仕入税額控除は現在できず、税負担が増加する。とりえず、経過措置の2割軽減に対応する」や免税事業者への対応に直面し、損害をいつまでもかぶる必要もないことへのジレンマに陥っているとの回答がありました。

▶当所では、毎週木曜日(9時～17時)、インボイス制度や各種税務相談窓口を開設しております。お気軽にご相談ください。また、令和6年1月17日(水)「電子帳簿保存法の実務対応とインボイス制度のおさらい～スキャナ保存・電子取引の要件が緩和～」のセミナーを開催します。詳しくは、折り込みチラシにてご確認ください。

実施期間：令和5年10月10日～10月24日
 対象期間：令和5年7～9月期
 有効回答数：43件(オンライン24件、書面19件)
 回答形式：選択回答(複数回答可)および自由回答

互礼会で

つながろう！

専務理事&総務委員長 対談



01

七尾の経済人の新年初顔合わせとなる七尾商工会議所「新年互礼会」。会議所ではたくさんの方の皆さんにご参加をいただき、この地域に大きなつながりを作り出したいと考えています。新年互礼会を前に、小川幸彦専務理事と瀬上博総務委員長の打合せ対談をお送りします。



(左) 瀬上委員長 (右) 小川専務理事

「互礼会ってなに？」
瀬上：新年初顔合わせ「特別なおめでたい席に詣でる」という印象で、そういう意味では少し敷居が高いかもしれませんが、もっとたくさんの方々に参加していただけるようにしたいと考え

ています。
小川：七尾の経済人が一堂に会する場になりたいですね。

瀬上：去年から総務委員会が互礼会を担当しています。コロナの時期もありましたが、それまでの互礼会参加人数は毎年100名弱。去年は約150名でした。今年は200名を目標にしています。目的は、会員みんなが顔を合わせる機会を作り出し、ビジネスのつながりを増やすことです。

小川：以前は、会議所だより、の冊子の中に参加募集の文章を入れていたのですが、目立たなかったからなのか、それを見て「参加します」と言う人はあまりいなかったと聞いています。これまでの互礼会は顔見知りが多いこともあって、名刺交換の必要性がなかったという感じがな。

瀬上：僕は若い時から参加しているんですが、この席って意外とビジネスにつながりやすいんですけれど、人脈作りになると思っていない人が多い気がします。七尾で一度に200人に会えるという機会はなかなかありませんので、若い人や商売を始めたいばかりの人にとってはとても良い機会になると思います。

小川：七尾で長く商売をしている人にとっても新しい人と知り合える楽しい機会になりますね。

「互礼会の工夫」
小川：今の時代、ただ形式的に会をやっている人も集まるわけじゃないですから、何か仕掛けが必要なんです。

瀬上：総務委員会は「楽しく」というのをベースにやっているんですが、互礼会にも「楽しく」をどうやって作るのか、僕たち委員会はそれを考えなければと思っています。ブース出展をして自社

の紹介をするというのはどうですか。

小川：現在、創業塾を開催していますし、創業応援カルテットが始まってから七尾で開業した人の数は110人ほど。そういう新しい人たちにとって自分をアピールできる場があるのは励みになります。

瀬上：例えば、食べ物のブースが出せると交流ができるし販売もできる、ちらしやパンフレットを配りまくるっていいのかもしれない。たくさんの方に新商品について説明するなどしてもらいたいですね。

小川：プレゼンしてもらってもいいですね。互礼会と主旨がずれてしまうかなことだと思います。やっぱりビジネスでつながるのが商工会議所ですから。

瀬上：会場での名刺交換も大切なアピールです。互礼会では、皆さんに動いていただくようこちらから促す必要もありますね。会議所主催なんですから、会員の皆さんに会議所に興味を持ってもらう仕掛けがあってもいい。これこそ会員の皆さんに向けてプレゼンを試みるのではありません。

小川：日頃からもっとたくさんの方に商工会議所を利用してほしいと思ってるので試してみたいです。

瀬上：皆さん企業PRをする機会があまりないので、「この会社はどんな仕事をしているのか」「地元なのに詳しく知らない」ということは多いです。

小川：こういった人が集まる機会に、会員同士がお互いを知るための「楽しい」仕掛けが必要になるんだろうな。

瀬上：いろいろあるブースのセッティングはすぐには難しいので改めて考えましよう。まず今年度は、パンフレットを並べてみましょうか。みんなが手に取

ることで会話も弾みますし、「この会社はこんなことが出来るんだ」と仕事につながるきっかけにもなりますね。

「互礼会」でつながる

瀬上：何をやるにしても趣旨説明が必要だと思っています。なんのために来るのか、来たらどうなるのかをしっかりと伝えて、参加する人を増やしていきたい。

小川：今回のように人に集まってもらう、動いてもらうためには、スローガ的なものも必要になってきますね。

瀬上：ネーミングやキーワードが大切だといわれる時代になりました。もし今まで参加したことのない人が「俺も行っていいかな」「ちょっと顔を出してみようかな」と思ってもらえるようなネーミングが必要ならば、変えるという選択もありです。「互礼会」という響きはどうですかね、敷居が高いと言いましたが、名刺交換会、初顔合わせ会など、今後伝わりやすい言葉を考えてみていいかもしれません。

小川：名前もその一つで、ちょっと何かを触るだけで視点が変わることもあるから。商売でのつながりが増えていくと活気付きますから、いろいろな仕掛けがあったらいいですね。

瀬上：七尾の人同士が知り合うことは大事なことです。やっぱりマンパワーは必要で、みんながつながればやれることが増えていく。ぜひこの機会にもっと会員同士がつながってほしいと思っています。

令和6年(木) 7尾商工会議所
11月11日開催 新年互礼会

参加者大募集!



※詳しくは別紙チラシをご確認ください。

女性会
だより

加賀商工会議所女性会との交流会& 無名塾+市民合同公演「等伯一反骨の画聖」を観劇



10月26日(木)、加賀商工会議所女性会と七尾商工会議所女性会との交流会を行いました。加賀商工会議所女性会会員18名が、七尾商工会議所女性会会員16名が「和倉温泉ホテル海望」にて、交流会、昼食懇親会を開催しました。

交流会では、両女性会が今年度の事業報告を行いました。加賀商工会議所女性会からは、小新雅子会長より、9月に開催した世界最高齢プログラマー若宮正子氏の講演会や婚活プロジェクトのボランティア協力について説明がありました。当女性会からは、各委員会代表者より、

新事業となる女性会deワークショップなどの今年度事業について説明しました。会員増強や婚活プロジェクトについての意見交換がなされました。その後、昼食懇親会も開催され、個々の交流も深めることができました。

交流会終了後、いしかわ百万石文化祭2023七尾市地域文化発信事業である無名塾+市民合同公演「等伯一反骨の画聖」を観劇しました。舞台は国宝「松林図屏風」などで知られる七尾出身の画聖、長谷川等伯の物語であり、無名塾の役者の方々はもちろん市民キャストの迫真の芝居を見ることができ、等伯を身近に感じられました。

今回、加賀商工会議所女性会の皆様と交流を深めることができ、なおかつ、自然と舞台が一体となった演劇ホール「能登演劇堂」にて、七尾出身の画聖長谷川等伯を観劇することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後も、加賀商工会議所女性会の皆様との交流を続けていきたいと思います。

女性会創立30周年記念横浜・東京研修視察

11月15日(水)~17日(金)に横浜・東京研修視察と横浜商工会議所女性会との第4回目の交流会を開催しました。沢野千穂子会長をはじめ16名が参加しました。初日は、のと里山空港を利用し、東京へ出発し、有明にある劇団四季の「ライオンキング」を観劇しました。創意工夫が凝らされた舞台セットや衣装、圧巻のパフォーマンスに感嘆しました。観劇後、横浜へ向い中華街にある横浜商工会議所女性会会員の「梅蘭金閣」で、夕食会を開催し、本格上海料理に舌鼓を打ちました。2日目は、横浜商工会議所女性会との交流会、3日目は、鎌倉を自由散策しました。会員相互の交流もはかり、東京・横浜・鎌倉を満喫することができた3日間でした。



横浜商工会議所女性会との第4回目になる交流会を開催



11月16日(木)、横浜商工会議所女性会との4回目の交流会を開催致しました。交流会は、横浜の港を一望できる横浜商工会議所にて行われました。最初に、横浜商工会議所女性会の河原隆子会長から、「これからも交流を重ねお互いの活動を高めあうことができる関係になっていくことを願っています。」と挨拶をいただき、当女性会の沢野会長は「会場に到着すると、横浜の皆様は歓迎をいただき、大変感動いたしました。一年ぶりに再会できるこの日を楽しみにしておりました。」と挨拶をしました。

その後、両女性会の活動報告が行われ、当女性会は各委員会代表が、女性会deワークショップや視察研修、香りの記念日イベントの「能登ヒバのしめ飾り教室」、加賀商工会議所との交流会など今年度の取り組みについて説明。横浜商工会議所女性会でも、各委員会代表が、会員

増強や、環境保全事業・女性塾事業について説明しました。環境保全に取り組む企業視察や、ビジネスに役立つセミナーを開催し、横浜経済の発展に努めていきたいという目的など、当女性会の事業にも大変勉強になることばかりでした。最後に、七尾と横浜の友好をデザインしたエコバッグについて、横浜のメンバーであるF/de(エフデ)の海野陽子氏より、「七尾と横浜の共通点を調べたところ、市の鳥は『かもめ』でした。かもめとかもめの出会い、港町を飛び回って大きく羽ばたけるようにこれからも交流できればとデザインしました」と説明いただき、当女性会メンバーは皆とても感激しました。最後に、この4回の交流で、生まれた数ある「ご縁」を大切にしていきたいと交流会を終えました。

昼食懇親会ではニューグランドホテルに場所を移し、横浜商工会議所の川本守彦副会頭と小峰直副会頭、鷲尾和之常務理事にご参加いただき、懇親を深める事ができました。次回七尾での再会を約束し閉会しました。



青年部
だより

日本商工会議所青年部 第41回全国会長研修会「山海の楽園こうち会議」に参加



来年3月の全国大会をPRする関係者

11月16日(木)～18日(土)、日本商工会議所青年部第41回全国会長研修会「山海の楽園こうち会議」が開催され、全国の青年部の指導的役割を担う会長、次期会長予定者らが研修を通じてリーダーとしての資質向上に努めました。

七尾からは清水宏司会長、田尻大輔筆頭副会長他6人が参加し、研さんを積みました。また両氏は大懇親会と閉会式の二度、来年3月に開かれる第43回全国大会「加賀能登の國いしかわ小松大会」PR隊の一員としてステージに立ち、大会への参加を呼び掛けました。

能登の未来を共に語り合おう！5団体親睦交流会

11月29日(水)、11月定例会「能登の未来を共に語り合おう！5団体親睦交流会」が料亭番伊で開かれ、七尾と中能登の5経済団体に所属するメンバー計35人が能登地域の未来や理想を一堂に語り合いました。主催の当所青年部のほか、当所女性会、七尾青年会議所、能登鹿北商工会と中能登商工会の両青年部メンバーが参加しました。

清水会長はあいさつで「『消滅可能性都市』として能登の各市町の存続が危ぶまれているが、次代を担う我々が協力すればその可能性を小さくすることはできるはず」と、地域や団体を越えた若者の結束を呼び掛けました。



当所女性会を加え、かつて実施していた4団体交流を復活させる形となった当交流会。単発ではなく定期的に実施することを確認し、和やかに幕を閉じました。

奥能登国際芸術祭鑑賞バスツアー



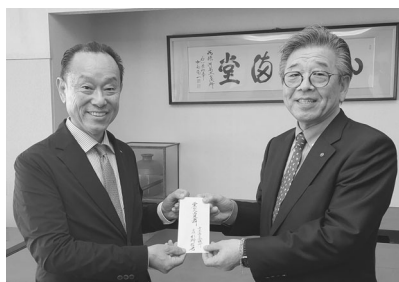
11月1日(水)、奥能登国際芸術祭鑑賞バスツアーが開催され、杉野哲也会頭、木下徳泰副会頭を含む当所会員ら24人が珠洲の「最先端」アートに親しみました。また杉野、木下両氏は珠洲商工会議所の刀祢秀一会頭を訪ね、震災の見舞金を手渡すなどして親交を深めました。

今年5月5日に震度6強の揺れに見舞われた珠洲市の復興を後押ししようと企画された当ツアー。参加者はブルーシートに覆われ「危険」の紙が貼られたまま佇む家屋に震災の爪痕を感じながら、スズ・シアター・ミュージアムなど6カ所を巡りました。また地元ガイドも帯同し、作品のみならず珠洲各所の現状を住民目線で詳しく解

説していただきました。

スズ・シアター・ミュージアムは珠洲市内で収集した民具や生活用品を展示しており、参加者は農具や織機、タンス、ブラウン管テレビなど、レトロな品々に郷愁を感じていました。また迷子のキリン親子を表現した「なぜここにいるのだろう」や、旧保育所の床、壁、天井一面を青と白色のペイントで施した「記憶への回廊」なども鑑賞。斬新で意味深な作品の数々に感嘆の声が上がりました。

一行は珠洲商工会議所前で刀祢会頭から歓迎のあいさつを受け帰路に入りました。現代アートに感銘を受けただけでなく、珠洲商工会議所や地域の人々との交流深化の機会となった当ツアー。関係・交流人口の拡大につながる意義ある旅となりました。



見舞金を手渡す杉野会頭(右)



「記憶への回廊」

インボイス&電子帳簿保存の周知と広報へ

～七尾青申会及び税務署管内青申会連合会が総会を開く～

11月8日(水)、七尾青色申告会(中越政秀会長)と七尾税務署管内青色申告会連合会(中越政秀会長)は市内料亭「番伊」にて、令和5年度総会を開催しました。

最初、七尾青色申告会では中越会長は開会挨拶で「会員拡大及び女性部の組織と活動の充実を図ろう」と呼び掛けました。

議事では10月から導入が始まったインボイス(適格請求書)制度の周知・広報などを盛り込んだ事業計画を承認しました。

また、女性部からの出席では令和5年度女性部会長に新任した木下美也子氏(丸一タクシー(株))、副部会長の谷野清子氏(株)谷野商事)、監事の藤本千鶴子氏(フジ美術工房)を報告、紹介しました。

次に、七尾税務署管内青色申告会連合会では、七尾税務署から宮崎雅人署長、高野晶弘総務課長、森田礼子個人課税第一部門統括国税調査官がご臨席して行われました。

議事では来年度に第62回青色申告会北陸ブロック大会が七尾で開催されるため、同大会への協力などを盛り込んだ事業計画を承認しました。

最後に、宮崎署長の『税務行政の将来像2023』と題

した講話を行いました。

引き続き同所にて、七尾青色申告会と同税務署管内青色申告会連合会との合同懇親会を宮崎署長らも参加して行い、日頃の税務行政等の意見を交えるなどして有意義に親睦を深めることができました。



宮崎署長



「DX化による納税者の利便性を追求する」と説く宮崎署長(中央奥)

石川県青色申告会連合会女性部研修会



会場の様子

10月27日(金)、石川県青色申告会連合会女性部研修会が和倉温泉お祭り会館にて開催され、県内7単体会、40名が出席されました。

冒頭、津田さよ連合会会長、木下美也子七尾青色申告会女性部部长より開会の挨拶をいただき、続いて、宮崎雅人七尾税務署長、中越政秀七尾税務署管内青色申告会連合会会長よりそれぞれ来賓祝辞を賜りました。

その後、「祭りの持続と観光活用」と題し、遠藤敦ななお・なかのとDMO事務局長の講演会が開かれました。遠藤氏は、「祭りの持続維持の一番の問題は、少子高齢化。学生との交流や、新しい組織づくりを行って、

歴史や伝統に縛られることなく、楽しいことがどんどんできればいい。祭りの宝庫である能登の祭りを文化観光として位置付けて、祭り資源を最大に活かして、誘客に取り組みたい」と話されました。

研修会後は、七尾市一本杉通りの花嫁のれん館へ移り、「花嫁のれんものがたり展」の視察見学を行いました。また、花嫁のれんが飾られている一本杉通りの商店や民家を自由に見て回り、絵柄に込められた意味や、親から子、孫に受け継がれてきた婚礼文化についての説明を受けました。



遠藤氏による講演の様子

新規会員募集中!

当所では新たに会員としてご加入いただける事業所の方を募集しております。区内で事業を営んでおられる方であれば、どなたでもご加入できますので、ご希望の事業所がございましたら、ご紹介ください。

| | | |
|-----|----|---------|
| 年会費 | 法人 | 14,000円 |
| | 個人 | 7,000円 |

【お問合せ】
七尾商工会議所 TEL 54-8888

「会議所だよりに広告を載せてみませんか？」



貴社の商品やサービスのPRにご利用ください。

「会議所だより」は七尾商工会議所の会員事業所を始め、市内主要施設、他都市商工会議所に毎月約2000部発行しています。七尾市を中心に貴社の商品やサービスについて幅広く周知したいとお考えの会員の皆様におすすめます。

※発行日は毎月10日前後です。

【お申込・お問合せ】
七尾商工会議所 TEL 0767-54-8888 FAX 0767-54-8811

チラシ折込料金

| サイズ | 料金(税込) |
|-----|---------|
| A4 | 33,000円 |
| A3 | 66,000円 |

年末年始休館のご案内



七尾産業福祉センター(七尾商工会議所)は

12月29日(金)～1月3日(火)まで

休館します。

よろしく願いいたします。

令和5年度会費納入のお礼

会員の皆様には、日頃より当所運営につきまして、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。11月20日(月)に口座振替の事業所様のご指定口座より今年度の会費を振替させていただきました。

また、口座振替を利用されていない事業所様にも会費納入を賜りましたこと併せて厚くお礼申し上げます。なお、今後口座振替をご希望の方は、ご連絡ください。

七尾商工会議所 総務課
TEL 54-8888



年賀状廃止のお知らせ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当所では、環境等への配慮から誠に勝手ながら本年をもちまして年賀状でのご挨拶を控えさせていただくことと致しました。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

「地域ブランドを担う 『感じの良い若者たち』を大切にしよう」

先日、久しぶりに青森を訪ねました。青森駅から鉄道で20分ほどの浅虫温泉で、青森中央学院大学の健康ウォーキング・サークルの学生や先生たちと森の中を歩くイベントに参加するためです。彼らがサークル活動で取り組んでいるのは、クアオルト健康ウォーキングというドイツ発祥のメソッドで、体の表面温度や心拍数をモニタリングしながら自然の中を歩き、効率的に無理なく健康増進につなげるというものです。

森を歩いて解散した後、浅虫温泉の駅近くに最近できたクラフトビールの醸造所を訪ねました。もともと銀行の支店だったという建物をリノベーションした醸造所には、8席のカウンターと金庫だったスペースの中に置かれた4人掛けのテーブルが一つあり、そこでつくられた数種類のビールを味わえます。

この「蛍火（けいか）醸造」を開業したのは、青森市の丸山銃砲火薬店の三代目、花火職人でもある丸山桂多さん。クラフトビールに魅せられて、岩手県遠野市の醸造所でビールづくりを修業したそうです。醸造所のある地名の蛍谷と、もともとの稼業である花火にちなんで、蛍火醸造と名付けたとのことでした。

一緒に森を歩いた学生もそうでしたが、丸山さんや醸造所のスタッフも皆、地元のことを大好きで、地元のために何か貢献したいという気持ちを持っていました。こうした気持ちはおのずとその行動や言葉に表れるものです。とても感

じの良いスタッフにいろいろと地域のことを聞きながらおいしいビールを飲んで、私もすっかり浅虫温泉と青森のファンになっていました。

最近、さまざまな地域で「地域ブランド」のつくり方や広め方といった内容で相談を受けたり、一緒に考えたりすることが多くなっています。そこでは地域資源を磨き上げて魅力あるものを地域外に発信したり地域に来て買ってもらうといったことをまず考えます。ブランドとはそもそも顧客の心の中に形成された良いイメージのことです。それを醸成するのは良い印象を抱いた小さな体験の積み重ねです。昨今、「モノよりコト」が重要だといわれるのはそのためです。

こうした「小さな感じの良い体験」をする場所やシーンはさまざまです。地域の外に対してそれを提供する人もさまざまです。その地域を好きになってもらう魅力的な体験を提供するのに「地元が大好きな感じの良い若者たち」が重要な役割を果たしていると、今回の青森訪問で強く感じました。

地域ブランドは、つくっては消費するような単発で一過性のものであってはいけません。商品やサービスを通じた体験も含めてずっと提供し続けるには、やはり若い力が必要なのだと思います。ですから地域ブランドを考えるときは、これから長くそれを担う若い世代の考えを採用し、主役を任せることが大切なのだと思います。



日経BP総合研究所
上席研究員

渡辺 和博

わたなべ かずひろ

プロフィール

日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。

行事カレンダー 2023

12月 December

- 16(土)
- 17(日)
- 18(月) 七尾の未来構想委員会
- 19(火)
- 20(水) 事業承継相談会
- 21(木)
- 22(金)
- 23(土)
- 24(日)
- 25(月)
- 26(火) 茶事
- 27(水)
- 28(木) 仕事納め
- 29(金)
- 30(土)
- 31(日)

1月 January

- 1(月)
- 2(火)
- 3(水)
- 4(木) 仕事始め
- 5(金) 国・県等新年挨拶回り
- 6(土)
- 7(日)
- 8(月)
- 9(火)
- 10(水)
- 11(木) 令和6年七尾商工会議所新年互礼会
- 12(金)
- 13(土)
- 14(日)
- 15(月)